

日本のみんなの力を集めてサイバーセキュリティの結節点を構築  
アライアンス発足! 参画組織随時募集中!

## アライアンス参画組織数 (2023年10月1日時点)

2021年4月に発足したCYNEKは、アライアンス体制へ移行しました。アライアンス発足に併せて参画した組織は47組織になりました。各参画組織と協力し、各Co-Nexusの活動を本格化していきます。

	Co-Nexus A	Co-Nexus S	Co-Nexus E	Co-Nexus C
民間企業	7	3	3	7
教育機関	8	6	0	10
官公庁	6	2	0	1
その他	6	1	1	2
各Co-Nexus小計	27	12	4	20
ユニーク組織数				47

▲ 各Co-Nexus別の参画組織数

## Co-Nexus A

### STARDUST貸与希望組織は15組織

主に標的型攻撃を対象として人間の攻撃者を誘い込むサイバー攻撃誘引基盤であるSTARDUSTの貸与希望組織は既存の貸与組織と新規貸与を合わせて15組織になりました。10月より新規貸与を再開し、参画組織の独自解析を支援しています。



### 継続して解析者コミュニティ定期会合を開催

2021年度300件以上、2022年度も400件以上の動的活動観測を実施しその結果を解析者コミュニティで情報共有しています。さらにWarpDriveの解析結果やOSINT情報も共有対象とし、会議テーマを拡充しました。アライアンス発足後もコミュニティ参画組織は20組織を越えており、今年度も残り12月、3月に定期会合を実施し、オンライン・オフラインでの情報共有とコミュニケーションを通じて解析者コミュニティを醸成していきます。

### タチコマ・セキュリティ・エージェント 大型アップデート第二弾リリース

ユーザ参加型のWeb媒介型攻撃大規模観測プロジェクトであるWarpDrive Projectでは、攻殻機動隊SAC\_2045シリーズとコラボした、タチコマ・セキュリティ・エージェントの大型アップデート第二弾を公開。新たに情報セキュリティの知識を学ぶゲーム機能を搭載。今後もローカルネットワークスキャニング機能の追加などユーザーメリット、成果のフィードバックの強化を予定しています。

WarpDrive Project



© 士郎正宗・Production I.G/講談社・攻殻機動隊 2045 製作委員会

## Co-Nexus S

### 高度SOC人材育成オンラインコース 4期生の育成を開始

オンラインコースは2023年9月に3期生(2組織6名)が修了しました。アライアンス発足後初となる4期生では8組織16名の育成を開始しました。OJTコースも2023年9月に1名が修了。現在1名が在籍中です。OJTコースは随時育成希望を募集中です。

### 国産セキュリティ情報提供 (実データ提供)も拡大中

横浜国立大学が運営するマルウェア感染と脆弱性の有無を確認する検査サービス「am I infected?」をはじめとしてNICTが観測・収集した実データを研究開発向けに提供しています。提供組織は2組織増加し、合計4組織になりました。



am I infected?

### IoT製品の脆弱性を発見・公表

CYNEK解析チームの活動により、防犯カメラ用デジタルビデオレコーダー(DVR)の脆弱性を発見。開発元への報告とコーディネーションを実施し、2022年8月(CVE-2022-35733)を公表しました。引き続き同種の脆弱性による被害の検知と通報を行っています。

### NICTER Blog/Twitterを通じた 脅威情報の発信を実施中



NICTER Blog



X公式アカウント(旧Twitter)  
(6000フォロワー以上)

日本のみんなの力を集めてサイバーセキュリティの結節点を構築  
アライアンス発足! 参画組織随時募集中!

## Co-Nexus E

### 国産セキュリティ製品・技術の検証実施中

長期に及ぶ機能検証・非機能検証、海外有力製品との比較検証など、製品・技術の高度化に繋がる検証を実施しています。これまでに検証した製品は延べ 7 製品・技術に増加しています。引き続き検証希望を受付中です。

種類	件数
製品化済み技術	5
製品化前技術	2

—— 検証要望例 ——

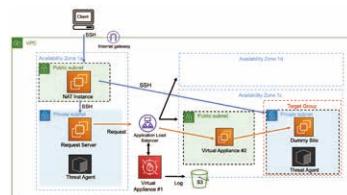
- ・アプライアンスの長期運用
- ・検知アルゴリズムの精度検証
- ・分析軸の追加など新機軸の検証
- ・新種、亜種マルウェアなど脅威変遷への適応検証

### 製品・技術に最適な検証環境を構築

検証希望組織へのヒアリング、ニーズ、検証手法の検討により、必要に応じて当初想定していたライブトラフィックのミラーリング環境に加え、最適な検証環境を構築。クラウド型からオンプレミス型、IoT 関連技術まで、様々なセキュリティ製品・技術の検証要望に対応しています。



検証に使用している IoT 機器(例)



検証用に構築したクラウド環境(例)

### CYNEX Redteam メンバー募集中!

CYNEX Redteam では、ライブトラフィックや標準的な手巣パターンに加えて、製品・技術毎に独自の模擬攻撃やペネトレーションテストを実施しています。

検証対象の増加に伴いメンバー(職員)を募集中です。



## Co-Nexus C

### 提供可能コンテンツが増加、CYNEXオリジナル演習も提供開始

CYNEX で現在提供可能な演習コンテンツとして、2022 年度は CSIRT 向け演習コンテンツとして、これまで提供していた CYDER A コース(初級)の演習コンテンツに加え、B コース(中級)を追加しました。

CYNEX オリジナル演習コンテンツでは 2022 年度には新たに 4 セグメントの教材と演習コンテンツを開発し、提供可能コンテンツとしてラインナップ。提供可能コンテンツの総数は 20 種類以上になりました。

### 演習の事業化を加速中

参画組織による CYNEX の演習コンテンツを利用した演習事業化の実証検証(オープン化トライアル)として、民間企業 1 社が CYDER A コース相当の演習を開始<sup>\*1</sup>し、アライアンス発足後も継続が決定。その他にも Co-Nexus C の演習事業化希望組織は 17 組織に増加し、産学での事業化が加速しています。

\*1 : サイバーセキュリティ演習基盤 CYROP のオープン化トライアルを開始  
<https://www.nict.go.jp/press/2022/02/03-1.html>

#### オープンプラットフォーム利用組織数

CYDER由来演習教材

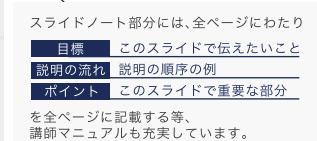
R4年度実施済：民間企業 1 社

CYNEXオリジナル演習

R4年度実施済：民間企業 1 社、教育機関 4 校



大学でのコンテンツ利用例  
(オープンキャンパスでのデモ)



コンテンツスライド例 (座学)

